

# 文選索引

上册

斯波六郎主編

中文出版社

出版緣起李廷揚…………… 1  
 文選索引再版序小尾郊一…………… 3  
 文選索引之編輯與出版平岡武夫…………… 5  
 文選索引序斯波六郎…………… 7

## 出 版 緣 起

中玉書院凡數文本(平常)對照檢字法本  
 文院附本末計印邊檢出文中本日及同書  
 (本校科天萬編新檢術——要  
 種學文院中學大島潤本日書識主書本  
 首語文本日通音、發音檢六部韻法、室定  
 附、隔印外寫書法、月2年1929、金似美  
 添附合編美書本隔印語全；發音一行許  
 學大語京本日由、月2年1929、出賣檢學京  
 。發音及不、行發夫五潤法得學科文人  
 和書、題再檢出文中、月6年1971、8  
 、原裝再重、發音附第干音及以日編、文館  
 者檢以、行發保書中玉書院檢字法本

## 目 次

---

■ 凡例……………	9~10
文選索引……………	1~1963
■ 補遺……………	1965~1974
■ 檢字表……………	1975~2082
▲ 總畫……………	1975~2008
▲ 四角號碼……………	2009~2042
▲ 發音……………	2043~2082
● 四角號碼檢字法……………	2083~4

---

## 文選索引凡例

1. この索引は、上海掃葉山房發行の24冊本の「仿宋本胡刻文選」を底本とした。但し、底本の筆寫體文字の特異な點畫は、この索引では概ね正字の形に改めた。
2. 文字の排列は、總畫順に據る。畫數の同じものは康熙字典の順序に據つた。
3. それぞれの文字群における語句の排列は、下記の方針に従つた。
  - a 先ず、熟語をなさないもの及び當該文字が語頭にこない熟語で二例以下のものを、文選の篇卷の順に列べる。
  - b 次に、當該文字が語頭につく熟語で一例しか見えないものを、見出しをつけることなく、その第二字目の漢字の總畫順に列べる。この場合、aとbの間は、原則として、1行をあけて區別している。
  - c 次に、當該文字が語頭にこない熟語で三例以上見えるものを、→記號によつて示す。その例は下の如くである。

【丈】字の部における 一方○・百○・大○夫 は、それぞれ【方】字の部の【方丈】、【百】字の部の【百丈】、【大】字の部の【大丈夫】、の項にまとめて、その熟語が収められていることを意味する。
  - d 次に、當該文字が語頭につく熟語で二例以上見えるものを、見出しをつけて、その第二字目の漢字の總畫順に列べる。

ここにいう“熟語”は、必ずしも従來の詩文の語彙のみを意味していない。2字以上の文字が連続して用いられる關係が明らかに認められるとき、その形のすべてを重視してとり上げた。
4. 篇次・卷次・葉數とその表裏は、下の如く表わした。

例 作畫○之歌 003.01,12a は 篇目番號3（班孟堅 西都賦）第1卷の12葉表を、百不處○ 021.10,17b は 篇目番號21（潘安仁 西征賦）第10卷の17葉裏を、示す。
5. \*は、その位置に補遺のあることを示す。見出しの語の補遺は下の欄外を、字句の補遺は卷末を、参照されたい。

文選索引

一畫

一畫

一畫		是用錫君鈇鉞各○	326.35,26b		392.43,03b
		是用錫君彤弓○	326.35,27a	夫○木之柶	448.52,18b
【一】		爾來二十有○年矣	334.37,05b	盈盈○水閒	249.29,05a
作畫○之歌	003.01,12a	年二十○	349.38,21b	非○丘之木	444.51,14b
備萬○之慮也	447.52,15a	少謝萬○	358.39,21a	壯士○去兮不復還	245.28,28b
以含○之德	374.40,30b	○佐成湯	370.40,22a	絕筆於獲麟之○句者	412.45,27a
有純○之德	431.49,12b	○以當千	375.41,03b	二者無○可	014.07,23b
逐什○之利	377.41,20b	今舉事○不當	376.41,10b	冀王道之○平兮	022.11,03a
○緯人理	009.04,26a	年○過往	383.42,10b	留我○白羽	307.31,05a
○六合而光宅	010.05,01a	時獨有○叔孫通	397.43,22b	終○目之所加	034.13,21b
百不處○	021.10,17b	渾○區宇	421.47,07a	是故魯遣飛○矢	407.45,14a
審處○焉	381.42,07a	右三十○人	423.47,09b	而樂出萬有○危之塗	355.39,14b
○越三千	027.12,04a	雖未究萬分之○	427.48,07a	答曰春秋雖以○字爲褒貶	412.45,26a
八徙官而○進階	041.16,02b	雖不足雍容明盛萬分之○	428.48,14a	而巴蜀○州之衆	402.44,20b
再免○除名	041.16,02b	八十○女御	432.49,19a	人固有○死	376.41,13a
其辭曰夫何○佳人兮	042.16,08b	而感致之數匪○	435.50,09b	是用錫君柶鬯○卣	326.35,27a
得十○於千百	044.16,16a	萬無○能成也	449.53,06a	將萬祀而○君	024.11,11b
各守○以司應	054.18,22b	又守之以○	449.53,06b	此○役也	013.07,16b
守○不足矜	238.28,09a	故本四孔加以○	052.18,11b	毀壤過○杯	134.23,16b
恭儉靜○	062.19,22b	○宇宙之氣	451.53,22a	○陌之榮	418.46,30a
靜○流競	343.38,07a	爲○準○	454.54,23b	將○車書	362.40,05b
混○齊楚	054.18,25b	參以天○	462.56,19a	不忍○辰憲	139.23,25a
衾裳○毀撤	135.23,20a	惟精惟○	462.56,21a	今九載而○來	045.16,18b
○隨往化滅	136.23,21b	建元四年八月二十○日	476.58,24b	官度嗣○卒	302.30,31b
生死○交情	139.23,24a	內謨帷幄○	476.58,26a	而讓齒乎○卷之師	327.36,02b
○由我聖君	230.27,13a	舊難詳○	478.39,20b	會不能畫○奇	406.45,06b
思欲○東歸	234.27,18b	○與之齊	479.59,30b	辭○官不減身累	347.38,14b
幽室○已閉	244.28,28a	葬禮○依	480.60,09b	○征而滅	326.35,22b
風波○失所	250.29,08b	聽受○謬	480.60,12b	○徂輒三齡	230.27,12a
黃鵠○遠別	251.29,10a	辭多不可○○	380.41,26a	千雲非○狀	124.22,22a
握手○長歎	251.29,10b	而欲○丸銷之	175.25,07a	所願不過○金	445.52,02b
願欲○經濟	257.29,16b	○口所敵	011.06,27a	雖○冒於垂堂	023.11,07a
寒城○以眺	288.30,14b	神○夕而九升	046.16,22b	同宴○室	044.16,14a
尋念非但○	311.31,14b	蒙籠蓋○山	101.21,24b	○怒不足以侵性	449.53,02b
契闊豈但○	311.31,18b	○化而不易	454.54,12b	其辭曰○思曰	252.29,11b
萬不失○	321.34,13b	想必欲其○反	175.25,07b	齊天地於○指	030.13,07a
金虎符第○至第五	326.35,25a	頭面常○月十五日不洗		不出○柶之上	448.52,17b
竹使符第○至第十	326.35,25a			○皆懲革	462.56,19a
是用錫君大輅戎輅各○	326.35,25b			濁酒○盃	392.43,07a